



*Service Above Self — They Profit Most Who Serve Best*  
Rotary International District 2660

2010年12月13日

ロータリー財団地域セミナーにご参加のロータリアン 各位

国際ロータリー第2660地区  
ガバナー 松本新太郎  
地区国際奉仕・WCS委員会  
委員長 小林澄子

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日ごろは当地区のロータリー活動にご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先般11月24日に大阪で開催されましたロータリー財団地域セミナーで、当地区のRI第3ゾーン財団学友コーディネーター井上暎夫より、平和フェローの寺西悦子さんと国際親善奨学生の西口三千恵さんの活動につきまして、現況報告をさせていただきました。その折、カンボジアで医療支援活動をしている西口三千恵さんから、11月22日に起こったカンボジアでの水祭りでの災害に対して、緊急支援要請が入った旨をお伝えし、ご参加の皆様には救援のための募金をお願いいたしました。急なお願いにもかかわらず、集まりました募金は約30万円になりました。

西口さんからの緊急支援要請の内容は、密封型の遺体収容袋でした。事故の惨状から身元確認に時間がかかるものと予想され、また、数少ない自動車で遺体を家族のもとに搬送するには時間がかかります。そのため、暑い気候のなかで、細菌等の二次感染を防ぐためには、密封型の遺体収容袋が必要と判断したようです。

皆様からの募金に、当地区のWCS基金から40万円を加え、直ちに遺体収容袋を手配いたしました。翌々日の11月26日には現地に遺体収容袋を届けることができました。ロータリー財団地域セミナーにご参加の皆様には、緊急支援という時間を争う活動に、多大なるご援助をいただきまして、心より感謝申し上げます。西口三千恵さんからの感謝の書面が届きましたので、これを添えましてお礼のご挨拶とさせていただきます。

敬具